

<情報>軽乗用車推移

軽四輪車の保有台数は、昭和48(73)年の車検制度導入後、昭和50(75)年9月までに検査を受けなかった車両を職権抹消したことにより、昭和51(76)年には前年度より減少したため、世帯当たり普及台数も同年にはいったん下がったが、昭和52(77)年(100世帯に15.9台)からは36年連続して普及が進んでいる。昭和57(82)年には100世帯に20台を超え20.2台、昭和63(88)年には100世帯に30台を超え31.9台、



平成12(00)年には100世帯に40台を超え40.8台、平成23(11)年には100世帯に50台の大台を超える50.3台となっていた。地域別にみると、世帯当たり普及率が高いのは、(1)鳥取県、(2)佐賀県、(3)島根県、(4)山形県、(5)長野県の順番。

「100世帯に90台以上の普及」は昨年と比べ増減なしの6県、「100世帯に80台以上の普及」は4県増の22県、「100世帯に70台以上の普及」は2県増の33県、「100世帯に60台以上の普及」は2県増の36県だった。

反対に普及率の低いのは、(1)東京都、(2)神奈川県、(3)大阪府、(4)埼玉県、(5)千葉県の順番。全国平均の100世帯に51.0台を下回るのは9都道府県となっている。

また、最高の鳥取県(100世帯に99.0台)と最低の東京都(100世帯に11.1台)では9倍近い大差がついている。



引用 社団法人 全国軽自動車協会連合会

お知らせ

エムケーカシヤマでは、現在軽自動車用パッド、ミニバン・SUV用パッドへスコーチ加工(表面焼き入れ)を施しておりますが、新たに、乗用車パッド(ラベルの色ブルー)へスコーチ化を行いました。乗用車用パッドスコーチ化に伴い、現在3種類あるパッドの化粧箱を統一させていただきます。



皆様の手元にもすでに届いているかと思いますが、新たにスコーチ化、パッケージ新PRのリーフレットを作成いたしました。リーフレットには、スコーチ加工の特性が分かる様に説明しております。裏面は、パッケージ新!!をアピールするリーフレットとなっております。

スコーチ化している市販メーカーはエムケーカシヤマだけです!!
皆様、スコーチ化完了したエムケーカシヤマパッドをよろしくお願ひします。

新製品情報



すでにフロントパッドを(D1294M-02)発売している、
日産パネット NV200用リヤシュー発売が決定!
この所、全国の皆様よりお問い合わせが多くなっておりまして、
Z1276-10、20を12月中旬に発売決定!



発売までもう少しお待ちください。